

生ごみ処理器 早見表

	庭or畑	手軽さ	におい	虫	維持費	堆肥	特長	留意点	町の補助	
直置きして使う 「 バクテリア de キーロ 」	必要	○ (手軽)	◎ (大丈夫)	◎ (湧きにくい)	◎ (ゼロ)	できない (中の土を堆肥代わりに使ってもよい)	<ul style="list-style-type: none"> フタ付容器に溜めた生ごみを数日に1回投入 くさった物、カビの物、食用油も投入OK 維持費がかからない (土のバクテリアの力で生ごみを分解) 虫や臭いが発生しにくい 	<ul style="list-style-type: none"> 場所をとるので、庭にスペースが必要 バクテリアdeキーロは約100ℓ、キーロ・スリムは約56ℓの黒土が必要。粘土質・腐葉土・砂・砂利は使用不可 (中の土を堆肥として使ったら、土を補給する必要がある) 入れられる生ごみは1回500gぐらい 	環境課で 窓口販売 黒土付き 1セット 2500円	
すっきりスマート 「 キーロ・スリム 」		どこにでも置けるタイプ 「 ベランダ de キーロ 」	不要	◎ (大丈夫)	◎ (湧きにくい)	◎ (ゼロ)	できない (中の土を堆肥代わりに使ってもよい)	<ul style="list-style-type: none"> ベランダやコンクリートの上に設置可能 フタ付容器に溜めた生ごみを数日に1回投入 くさった物、カビの物、食用油も投入OK 維持費がかからない(土の力で生ごみを分解) 虫や臭いが発生しにくい 		<ul style="list-style-type: none"> 設置場所としてベランダや庭にスペースが必要 ベランダdeキーロは約100ℓ、ベランダ・ミニは約60ℓの黒土が必要。粘土質・腐葉土・砂・砂利は使用不可 (中の土を堆肥として使ったら、土を補給する必要がある) 入れられる生ごみは1回500gぐらい
コンパクトで気軽に使える 「 ベランダ・ミニ 」	堆肥が作れる 「 コンポスター 」 (130型)	必要		△ (コツがいる)	○ (通常は大丈夫)	△ (湧きやすい)	◎ (ゼロ)	できる	<ul style="list-style-type: none"> 落ち葉や雑草を主に投入し、半年から1年かけてじっくりと堆肥が作れる 大量の生ごみにも対応し、落ち葉や雑草、小枝も入れられる 維持費がかからない 	<ul style="list-style-type: none"> 落ち葉や雑草類を主に入れないと、悪臭や虫が発生しやすい (虫が発生したら、ナフタリンなどで退治)
土に埋め込んで使う 「 ミラコンポ 」	必要	◎ (とても手軽)	△ (夏場は特にきつい)	×	◎ (非常に湧きやすい)	◎ (ゼロ)	できない (何も残らない)	<ul style="list-style-type: none"> 最初に土中に埋めれば、あとはごみ箱感覚で手軽に使える(生ごみを入れるだけ) くさった物、カビの物、食用油も投入OK 維持費もかからない (土のバクテリアの力で生ごみを分解) 	<ul style="list-style-type: none"> 夏場は虫の発生率が高い(発生したら殺虫剤や熱湯で退治) 深さ50センチの穴を最初に掘るのが大変 	環境課で 窓口販売 (1個500円) 1世帯2セットまで
堆肥の素を作る 「 EMバケツ 」 ・11型(白バケツ型) ・18型(コック付型)	必要	△ (コツがいる)	△ (夏場はきつい)	◎ (湧きにくい)	△ (年間数千円)	大量に 堆肥の素が できる	<ul style="list-style-type: none"> 菜園・畑などをやっている方で非常に良質な堆肥の素を短期間で大量に作りたい人に向いている 虫が発生しにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ボカシ代に年間数千円がかかる(米ぬか代用可能) 夏場は発酵臭がかなりきつくなる(肉や魚を投入すると悪臭がでる) どんどん堆肥の素ができるため、それを埋める場所がない方には無理 	環境課で 窓口販売 (1個500円) 1世帯2セットまで	
手動式生ごみ処理機 「 くるくる 」 ハンドル 有・無	不要	◎ (とても手軽)	○ (通常は大丈夫)	○ (設置場所による)	△ (年間3千円)	ほとんど できない	<ul style="list-style-type: none"> 雨のかからない場所に置き、ハンドルをくるくる回すだけの手軽さで使える 庭がなくてもOK (ヒノキチップでごみを分解) 室内で使用すれば虫の心配はほとんどない 臭いも発生しにくい 	<ul style="list-style-type: none"> 入れられる生ごみは1日500gまで(三角コーナー1ばい程度) ハンドルがやや重くなる場合がある。(ハンドル外す事も出来る) 1年に1回、チップの交換が必要(3千円かかる) 	中古を無償貸出	
電動式 生ごみ処理機	不要	◎ (とても手軽)	○ (通常は大丈夫)	◎ (湧きにくい)	△ (年間数千円)	機種による	<ul style="list-style-type: none"> ごみ箱感覚で手軽に使える(スイッチを押すだけ) シーズンに関係なく、安定して処理できる 熱乾燥させるだけの「乾燥型」と、堆肥にする「ハイオ型」がある 	<ul style="list-style-type: none"> 値段が高い 電気を使うため、音や熱が発生する 電化製品なので、故障する可能性がある 「ハイオ型」は、定期的に種材の交換が必要(数ヶ月〜1年に1回) 	購入費の3分の2 を補助 (上限3万円) ※価格の目安 ・電動式4〜8万円	



バクテリアdeキーロ

高50cm×幅114cm×奥行66cm



キーロ・スリム

高44cm×幅100cm×奥行44cm



ベランダdeキーロ

高79cm×幅94cm×奥行47cm



ベランダ・ミニ

高79cm×幅69cm×奥行40.5cm



コンポスター

高さ66cm×直径60cm



ミラコンポ

高55cm×直径35cm



EMバケツ11型

高25cm×直径31cm



EMバケツ18型

高39cm×直径31cm



くるくる

高36cm×幅35cm×奥行50cm